

名家連ニュース

令和7年2月4日(火)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 池山 豊子
TEL/FAX (052) 846-5576 NO. 1027

精神疾患の基礎知識講座(令和6年度) 最終会を終えて



誰もが人生の主人公



令和7年1月26日(日)午後2時から4時 北区総合社会福祉会館7階 研修室
最終回、38名のご参加がありました。ありがとうございました。

講座を終えて

精神障害のある人がひとりの市民として地域でどう生きるか。

～本人の暮らしに必要な要素及び家族会の活動に着目して～

【講師】日本福祉大学 教授 青木 聖久 先生

誠に残念なことに初回が台風の接近で中止になってしまい、満を持してご登場いただきました。青木先生は日本全国のどの研究者よりも精神障害のある人を持つ家族に、誠心誠意寄り添ってこられた方です。



今や、精神疾患はがんや脳卒中などと同じく国民にとって大

きな健康問題であり自分だけでなく、大切な人が大変な状況に陥るかもしれません。転んでしまったときにどうリカバリーするか、大怪我をしない社会づくりが大切であるとのお話でした。

さらに以下のことを皆さんにお伝えしたいとのことでしたので、当日参加の叶わなかった方へもご紹介いたします。

「ジャッジ(審判)するのではなく支持をする」

「社会的孤立をさせない」

「応援団(人や制度)の増員とさまざまな人との繋がりを持つ」

「4つの助(自助、互助、共助、公助)」

ピアの立場で生まれた家族会は自助でもあり、互助でもあり、共助でもあります。

家族会が果たす一番大切な役割は、大変な経験の中から見出してきた回復への知見を、同じように困っている人たちの足元を照らすささやかな灯に変えることだと考えます。

今後も、そのように家族会の活動を展開していきたいと思えます。青木先生のお話に、温かいエールを頂きました。

最後までやり遂げることができました。ご参加くださいました皆さま、講師の先生方、家族会理事の方々に心より厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。(文責:神原)